**省エネ性能向上の根拠書類**

平成27年　　月　　日

会社名　：

代表者氏名　：

今回塗装施工する遮熱塗料は、従来塗料と比較して、冷暖房負荷低減効果が著しく改善され、省エネルギー性能の向上に寄与したことを以下に説明する。

１．比較指標

「JIS K 5675：屋根用高日射反射率塗料｣認証品、または日塗工が認定した相当品において、「JIS K 5602：塗膜の日射反射率の求め方｣より求めた日射反射率（全波長域）を比較指標とした。

２．省エネルギー性能向上率計算方法

冷暖房負荷低減効果（期間空調）を求める方法として、｢環境省　平成23年度環境実業ヒートアイランド対策技術分野　建築物外皮による空調負荷低減等技術実証実験｣における工場標準モデルに用いた熱負荷計算プログラム**｢AE-Sim/Heat｣**により、従来塗料と当該遮熱塗料の日射反射率から冷暖房負荷エネルギーを計算し、省エネルギー性能向上率を算出した。

なお、気象条件は地域ごとに異なるが、東京(23区)の最新気象データ(拡張アメダス標準年1991～2000年)を基準とした。

３．省エネルギー性能比較

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 塗料比較  記入項目 | 従来塗料  (一代前モデル) | 当該遮熱塗料  (最新モデル) | 記入例 |
| JIS K 5675取得有無 | － |  | 取得品又は相当品 |
| 製品名（システム名） |  |  | ○○○クール |
| 型番（※） | － |  | Ａ123 |
| 色名　明度域 |  |  | ダークブルー　低明度域 |
| 色相（Ｌ\*ａ\*ｂ\*） |  |  | 29.79/-6.90/-24.82 |
| 近赤外反射率（％） |  |  |  |
| **日射反射率（％）(全波長域)** |  |  |  |
| **省エネ性能向上率（％）** |  | |  |

（※）性能証明書申請と同一。４.の塗料塗装仕様を明示する内容であること。

４．当該遮熱塗料塗装仕様　：参考として、該当仕様のカタログを添付する。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 塗装工程 | 水･溶剤・多液型 | 塗料名（ベース／硬化剤） | | 希釈剤(ｼﾝﾅｰ､水) |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

注１）塗料名は、製品番号、製品名を記載する。シンナーも同様。

注２）本内容は、見積書、性能証明書のパッケージ型番内容と同じであること。